事	業概要説	<u>明シー</u>	<u> </u>							事務事業番	号 10501:	360	037
	事務事業名		「音	楽にあん	ふオ	た学校・	づく	り」充実	事	業(こども夢)	基金事業	(美)	
事業開始年度			2012(H24)年度~					担当部署	学校教育	育部 教育指導課			
	根拠法令	決裁											
実施方法		■直営 □委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:										)	
		□その他(											)
目 的 (何のために)		中学生が高校生や大学生と合同練習、合同演奏会を行うことや、専門家による指導を受けることにより、音楽に対する「夢」や「興味」をさらに引き出し、吹奏楽・ブラスバンドのレベルアップを図ることにより、生涯にわたって音楽に親しもうとする心を育成することを目的としている。											
対 象 (誰・何を対象に)		枚方市立中学校在籍の中学生											
事業内容		専門家の指導による楽器別講習会や吹奏楽・ブラスバンド部を対象にした中学校別講習会、中学生と高校生との合同練習会を実施することで、生徒の演奏技術の向上を図る。また、中学校吹奏楽・ブラスバンド部の生徒が合同演奏会で高校生や専門家と同じ舞台に立つことで、音楽に対する「夢」や「興味」を引き出す。なお、吹奏楽・ブラスバンド部のない4校の中学校の生徒に対しても、広く周知し、参加を呼びかけ、生涯にわたって音楽に親しもうとする心を育む。											
類似事業													
事業の必要性		中学生の音楽に対する「夢」や「興味」をさらに引き出すことや、ブラスバンド(吹奏楽)のレベルアップを図り、生涯にわたって音楽に親しもうとする心の育成を図ることは、子どもたちの豊かな心を育むために必要な事業であると考えている。											
_	コスト									T			1
L		H23年度決算						度決算		H25年度当初予算			
	 正職員	<b>従事職員</b> _	数 人	<mark>概算人件</mark> -	千	<b>従事職員</b>		概算人件 1,600	千	<b>従事職員数</b> 0.20 人	<b>概算人件</b> 1,581	千	
	再任用職員	_	人	_	円 千二	0.20	人人	0	円 千	人	0	円 千	
	非常勤職員	_	人	_	円 千田		人		円 千円	人	0	円千田	
	<u>等</u> 人件費計(A)		<i>,</i> ,	_	円 千円		<i>_</i> _	1,600	千円		1,581	千円	
直接経費(B)		_				- 2 050 千				2,350 千円			
=	<del>総事業費(A+B)</del>				千円			3,659	千 円		3,931	千 円	
財源内訳												1 1	
		H23年度決算				H24年度決算				H25年度当初予算			
[3	国庫支出金	-			千円	千円			= 				
Я	守支出金	-			千円	千円				1 P			
受益者負担 (使用料等) その他		-				千円				手 円			
		-				2,059 千円					2,350 千円		
-	一般財源				千円			1,600	千円		1,581	千円	
平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)		内 容									金額		
		報償金									1,314 千円		
		委託料									745 千円		

千円

事務事業名「音楽にあふれた学校づくり」充実事業(こども夢基金事業)事業開始年度2012(H24)年度~担当部署学校教育部 教育指導課

	活動指標もしくは	<mark>求果指標</mark>	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)			
活動実績	楽器別講習会・中学校別 ① 導及び鑑賞会・合同演奏 に参加した生徒の延べん	长会•合同練習会	人		2,460	2,200			
	2								
単位当たりコスト (総事業費/活動指 標)	楽器別講習会・中学校別 導及び鑑賞会・合同演列 に参加した生徒1人1回 スト	<b>&amp;会·</b> 合同練習会	円		1,487	1,786			
1287	2								
成果目標 (目標とする成果) 中学生が合同演奏会や合同練習会に参加し、互いに刺激を受け、また、専門家や高校生からは けることにより、市立中学校全体として、吹奏楽・ブラスバンドの演奏技術を高める。									
比較参考値 (他自治体での 事業の例など)									
特記事項	<ul> <li>・楽器別講習会:平成24年12月1日(土)参加生徒(中学生)数:495名</li> <li>・中学校別講習会(部活動単位):平成25年1月20日(日)参加生徒(中学生)数:566名</li> <li>・合同指導及び鑑賞会:平成25年3月3日(日)参加生徒(中学生)数:592名</li> <li>・合同演奏会:平成25年3月24日(日)参加生徒(中学生)数:582名、一般・保護者約1,500名</li> <li>・高等学校との合同練習会:平成25年3月26日(火)参加生徒(中学生)数:225名</li> <li>部活動顧問などから、参加した生徒は熱心に指導を受けており、演奏技術向上にいい機会であったとの声があった。また、来場者からも好評を得た。</li> <li>市内19校のうち、吹奏楽・ブラスバンド部がある中学校は15校である。その15校の中には、吹奏楽・ブラスバンド部に所属していない生徒の参加もあった。教育文化都市を推進するため、同趣旨の事業の実施や市立中学校における吹奏楽・ブラスバンドにかかる部活動の充実等、今後の取組の検討を行う。</li> </ul>								
一次点検における 事業の今後の方 向性及び具体的な 今後の取り組み方 策	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								
(平成25年度)	・効果検証が必要。民間事業 ・効果検証が必要。	<b>きと連携が可能では</b>							
一次評価結果 (平成25年度)	・目標は、目的に対して妥当 ・最長で平成26年度までとの 事業は必要では		終了するに	あたり総合計画	の観点から何ら	かの教育文化			
二次点検における 事業の今後の方 向性及び具体的な 今後の取り組み方 策	現状のまま継続	平成25年度は、大学 平成25年度の事業 果検証を行い、引き 楽・ブラスバンドのス	完了後に実 続き、同趣	施するアンケー 旨の事業の実施	ト等の内容を分 で市立中学校	析するなど効			